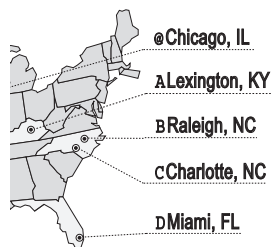




教育フェア

第24回・2008年春 2008年5月10日～17日
教育講演会・パネルディスカッション・個別相談会

報告



	開催地	開催日	会場／協力
①	シカゴ	5月10日(土)	シカゴ補習校
②	レキシントン	5月11日(日)	セントラルケンタッキー補習校
③	ローリー	5月13日(火)	North Carolina State Univ. ローリー補習校
④	シャーロット	5月14日(水)	International House シャーロット補習校
⑤	マイアミ	5月17日(土)	マイアミ補習校

参加者(パネリスト・司会)				
	学校	役職	氏名	参加
パネリスト	茗溪学園中・高	広報部長	岩間 敏彦	全会場
	かえつ有明中・高	サイエンス科主任	青木 孝史	
	広尾学園中・高	校長補佐(国際担当)	小山 和智	①②
	インターナショナル・コース主任	川本 豊		
司会	聖学院中・高	事務長	森野 光生	全会場
	INFOE	代表	松本 輝彦	
ゲスト	ZAK International	代表	水谷 清巳	①②



Lexington: パネルディスカッション中の松本・岩間・森野・青木・小山・川本の各先生(左から)

教育フェア開催

「アメリカの教育」「激化する大学の国際競争」「日本の教育の急激な変化」などについて、講演会・日本から参加された先生方とのパネルディスカッション・参加校の紹介・家族単位の個別相談と、内容の充実した5会場での教育フェアを終えました。

3都市(ローリー・シャーロット・マイアミ)では、初めての開催でした。始める前に「どんな話が聞けるのですか?」とご質問がありましたが、「良かったですよ」「役に立ちました」との感想を終わってからいただき、「来て良かった」と安心しました。

シカゴ補習校(酒井賢校長): シカゴでは週日の日本人学校と土曜日の補習校が校舎を共用しています。どちらの学校からも合わせて80名以上の保護者が参加されました。土曜日の開催でしたので、児童生徒が行き交う校舎の中の小体育館での実施です。日本からの先生方には、補習校の見学もあり、海外での子ども達の教育の実態を知る良い研修となりました。

セントラルケンタッキー補習校(原田孝治校長): 補習校が使用する真新しい現地校校舎を、嵐の中で探し当てての開催でした。しかし、図書室での落ち着いたフェアとなりました。遠く、エリザベスタウンから補習校校長と在校生のご一家も参加されました。

ローリー補習校(安田俊彦校長): ノースカロライナ州での初めての開催になりました。参加者が多くなり、州立大学の会議室を借りての開催でした。終了後、補習校事務所を訪問させていただいて、貴重な現地事情のお話を聞きました。

シャーロット補習校(中川信壽校長): 保護者に混じって、補習校の先生方も参加され、授業内容や方法などについて、日本からの先生方にアドバイスを求めておられました。

マイアミ補習校(田中要校長): フロリダ州でも最初の開催となります。土曜日の保護者の朝のミーティングのあとに、講演会からスタートです。補習校理事の皆様には、会食をしながら、フロリダ州、さらには中南米の日系企業の様子などを聞け、参加校にとっては貴重な情報収集の機会となりました。

感謝: 今回も非常に多くのご協力をいただき、無事に終了することが出来ました。各補習校の校長先生には、準備から当日までの多くの作業と雑用にご協力いただきました。また、フロリダ補習校理事の杉田靖様には、初めての開催にあたり、事前の連絡・準備から当日の司会までとお世話になるばかりでした。

皆様に、心からお礼を申し上げます。

参加者アンケートより(回答: 62 通)

Q: 次回の「教育フェア」にも参加を希望しますか?

強く希望する	希望する	希望しない	わからない (帰国などの予定)	無回答
40%	40%	0%	15%	5%



Chicago: 補習校の体育館にて